

善戦健闘、統一地方選終わる

大牟田・荒尾で公認、推薦候補全員当選

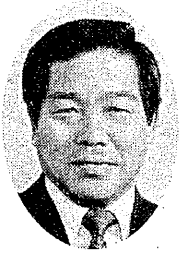
前半戦につづく勝利

統一地方選挙の前半戦で、「天王山」といわれた福岡県知事選で庄勝、奥田知事の再選を勝ちとり、県議選においても大牟田・荒尾で勝利しました。ひきつづく前半戦でも大牟田・荒尾の市議選、さらに高田・岱明の町議選で公認、推薦候補が少数激戦の中で善戦健闘、全員当選を果たしました。

大牟田・大橋氏 荒尾・前川氏 揃って二期目

統一地方選挙を締めくくると市議、町議選は、前半戦での革新の躍進で善戦が期待されていましたが、いずれも少数激戦の中で好成績を挙げ、おさめて終わりました。議員定数が四議席減で三十六議席を四十二人で争う激戦となった大牟田市では、公認候補の大橋武彦は、

大牟田市議(公認) 大橋 武彦 (51)



大牟田市議(推薦) 島 フミエ (56)



荒尾市議(推薦) 坂本 敏雄 (58)



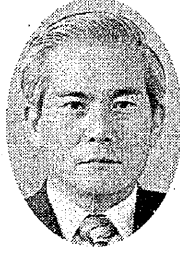
荒尾市議(推薦) 福川 次郎 (73)



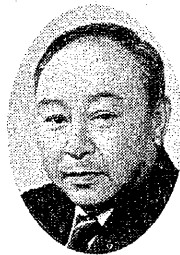
荒尾市議(推薦) 蒲池 哲夫 (47)



前川 哲也 (47)



荒尾市議(推薦) 椎島 博明 (55)



荒尾市議(推薦) 西村 政之 (60)



高田町議(推薦) 近藤 新一 (42)



岱明町議(推薦) 手島 賢二 (43)



第58回メーデー万歳

働くものの団結で、雇用と生活と権利を守り
自由で平和な日本をつくらう

高田町議選

(定数16 立候補17)

一人はみ出しの三池郡高田町議選で推薦候補の近藤新一氏(社新)は、新人ながら健闘して、二二九票を獲得してトップで当選しました。最下位当選者の得票は四六四票でした。

岱明町議選

(定数18 立候補20)

熊本真玉名郡岱明町議選で推薦候補の手島賢二氏(社現)は、四七八票を得て十五位で当選しました。最高得票は六七四票、最下位当選者の得票は三九五票でした。

大牟田市議選 荒尾市議選結果

大牟田市議選

(定数36 立候補42)

石原 正利51社新 当 一八二九 橋本 正義41無現 当 一五九一 小宮 和昭43無現 当 一四九三 藤丸 正則49無現 当 一四七七 重村 栄37無現 当 一四七七 戸島 紀久62無現 当 一四七七 和田 文友51無現 当 一四七七 坂田 敏昭42公現 当 一三三七 池田 明好50自現 当 一三三七 増田 亮治51民現 当 一三三三 荒木 修一43無現 当 一三三三 山口 雅弘35自新 当 一三二六 西村 政之60社新 当 一三二六 山本 勇太郎70社元 当 一三二六 田中 良典46公現 当 一三二六 松本 弘58民現 当 一三二七 中富 茂樹47無現 当 一三二七 野口 和之60無現 当 一三二七 樫島 博明55社新 当 一三二七 小林 正明49公新 当 一二九六 坂本 敏雄58社現 当 一二九六 笠原 忠雄61共現 当 一二九六 福川 次郎73社現 当 一二九六 大橋 武彦51社現 当 一二九六 蒲池 哲夫47社現 当 一二九六 内山 謙一47公新 当 一二九六 那須 鹿雄60自現 当 一二九六 桑畑 貢49公現 当 一二九六 安田 三郎62無現 当 一二九六 矢野 太刀男44自現 当 一二九六 矢野 浩之57無現 当 一二九六 帖地 国男60社現 当 一二九六 前畑 護7無現 当 一二九六 金沢 明夫35自現 当 一二九六 前川 哲也47社現 当 一二九六 安部 靖64社現 当 一二九六 山田 礼二55無現 当 一二九六 原田 俊孝58民現 当 一二九六 前田 真一54公現 当 一二九六 岩本 勝司38自新 当 一二九六 白水 勝万嬢54無現 当 一二九六 吉田 正義65無現 当 一二九六 江崎 進57無現 当 一二九六 吉田 正人52無現 当 一二九六 平島 恒雄53社現 当 一二九六 内野 和善65無現 当 一二九六 江崎アツ子56無現 当 一二九六 瀬戸 和善65無現 当 一二九六 城後 正徳46無現 当 一二九六 上野 哲夫47共現 当 一二九六 新藤 美和子49共現 当 一二九六 高森 茂行63無現 当 一二九六 島 フミエ57社現 当 一二九六 坂井 敏二66無現 当 一二九六 訪米も、六月のサミットも、よく分らない抽象論の「新前川リポート」では乗り切れまい。内閣拡大こそ鍵だが、雇用と大儲け上げがなければ庶民は「死ぬ」。

(定数30 立候補34)

石原 正利51社新 当 一八二九 橋本 正義41無現 当 一五九一 小宮 和昭43無現 当 一四九三 藤丸 正則49無現 当 一四七七 重村 栄37無現 当 一四七七 戸島 紀久62無現 当 一四七七 和田 文友51無現 当 一四七七 坂田 敏昭42公現 当 一三三七 池田 明好50自現 当 一三三七 増田 亮治51民現 当 一三三三 荒木 修一43無現 当 一三三三 山口 雅弘35自新 当 一三二六 西村 政之60社新 当 一三二六 山本 勇太郎70社元 当 一三二六 田中 良典46公現 当 一三二六 松本 弘58民現 当 一三二七 中富 茂樹47無現 当 一三二七 野口 和之60無現 当 一三二七 樫島 博明55社新 当 一三二七 小林 正明49公新 当 一二九六 坂本 敏雄58社現 当 一二九六 笠原 忠雄61共現 当 一二九六 福川 次郎73社現 当 一二九六 大橋 武彦51社現 当 一二九六 蒲池 哲夫47社現 当 一二九六 内山 謙一47公新 当 一二九六 那須 鹿雄60自現 当 一二九六 桑畑 貢49公現 当 一二九六 安田 三郎62無現 当 一二九六 矢野 太刀男44自現 当 一二九六 矢野 浩之57無現 当 一二九六 帖地 国男60社現 当 一二九六 前畑 護7無現 当 一二九六 金沢 明夫35自現 当 一二九六 前川 哲也47社現 当 一二九六 安部 靖64社現 当 一二九六 山田 礼二55無現 当 一二九六 原田 俊孝58民現 当 一二九六 前田 真一54公現 当 一二九六 岩本 勝司38自新 当 一二九六 白水 勝万嬢54無現 当 一二九六 吉田 正義65無現 当 一二九六 江崎 進57無現 当 一二九六 吉田 正人52無現 当 一二九六 平島 恒雄53社現 当 一二九六 内野 和善65無現 当 一二九六 江崎アツ子56無現 当 一二九六 瀬戸 和善65無現 当 一二九六 城後 正徳46無現 当 一二九六 上野 哲夫47共現 当 一二九六 新藤 美和子49共現 当 一二九六 高森 茂行63無現 当 一二九六 島 フミエ57社現 当 一二九六 坂井 敏二66無現 当 一二九六 訪米も、六月のサミットも、よく分らない抽象論の「新前川リポート」では乗り切れまい。内閣拡大こそ鍵だが、雇用と大儲け上げがなければ庶民は「死ぬ」。

地底

五月は新茶の季節。さわやかな味と香りへの期待がふくらむ。「夏も近づく十八夜...あれに見えるは茶摘みじゃないか...」の風情も、茶摘機に変わってしまった。新緑は広がるが、重たい季節でもある。

閉山、縮小合理化許さない

(合理化関連の記事は二面に)

大牟田市議選	116,743	投票者数	9,093	投票率	77.89%
荒尾市議選	45,190	投票者数	3,875	投票率	85.77%

「選挙が終われば、メーデーにつづく連休。次に控えるは、大幅合理化」といっては「愚問」でもできぬ。「石炭つづし」の基本方向が客甲どおりで決められ、石炭資本はいつせいに合理化に踏みきる。「早期撤退にメリット」を許さないためには、「産業の空洞化」に歯止めをかけ、前川リポートを拜る以外にない。